

渋川高校バスケットボール部の目標

部活動を通して、社会に積極的に関わり、かつ貢献できる選手の育成を目指しています。バスケットボールという競技を通して、技術の向上だけでなく、「自主性や協調性の育成」「人間関係形成能力の向上」「渋高生としてふさわしい生活態度を身に付けること」を念頭に活動しています。

バスケットボール部の Mission(目的・使命)

⇒ **勝者の振る舞い**

- ①いつでもベストを尽くすこと
- ②常に学び、上達・改善すること
- ③ミスしても立ち止まらないこと

バスケットボール部の Vision(目標・未来像)

⇒ **群馬県ベスト8**

活動状況

平日 16:10～18:30 *水曜日はオフ

休日 8:30～12:00 *練習試合・遠征日は終日も有。

大会結果

大会名	結果
令和6年度 高校総体	2回戦敗退
令和6年度インハイ予選	2回戦敗退
令和6年度 GuBA U18 リーグ戦	3部 A リーグ 5位
令和6年度 Winter-Cup 予選	2回戦敗退
令和7年度新人大会	2回戦敗退
令和7年度 高校総体	ベスト16
令和7年度インハイ予選	2回戦敗退
令和7年度 GuBA U18 リーグ戦	4部リーグ 6チーム中4位
令和7年度 Winter-Cup 予選	ベスト16

渋川高校は何で勝負する？

個人のパフォーマンス(高さ・走力・跳躍力)だけではなく、『チームスポーツの可能性』でスコアに差をつける。「チームスポーツの可能性」とは、チームが一丸となること。コート上では5人が結託することで最大化されます。そのためには、監督やベンチの作り出す雰囲気や、選手の「一生懸命な姿」「Give する精神」「感情のコントロール」「視座を高める」力(ちから)“ が必要です。つまり「人の“心”を動かす力」、『人間力』が求められます。

この『人間力』を日々の活動を通じて、共に学び育むことが、渋高バスケ部の目指す姿です。

★仲間と結託したコンビネーション★

★チームスポーツの可能性に挑戦★

具体的な取り組み

●OFF コートの徹底「応援されるチーム作り」

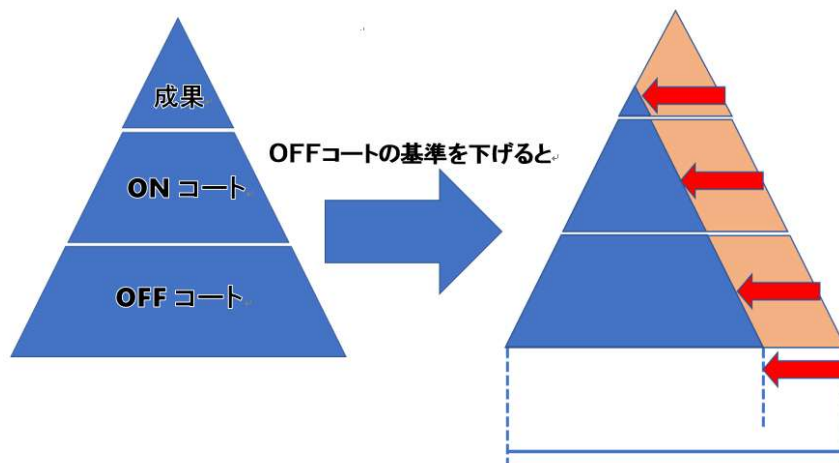
「“OFF コート”で出来ないこと」は、「“ON コート”でも出来ない」

また、「“OFF コート”で出来ること」は、「“ON コート”でも出来るかもしれない」

つまり、“OFF コート”での基準値が低いチームは、バスケットボールの基準値も低いチームとなると考えています。

バスケットボールの基準値が低いチームは、それらから得られる成果も小さくなります。

渋高バスケ部では、OFF コートの過ごし方を大切にしています。



●考えるバスケット「人とボールとアイディアが止まらない」

人とボールが動けば、敵 DEFFENCE の「場所」「身体の向き」「意識」が動きます。つまり、先にアイディアで仕掛ければ、イニシアティブが取れ、敵 DEFFENCE を操作することが可能となります。渋高バスケ部は様々なプレイアイディアを探り、チームの共通理解を深めています。日々の練習で、試行錯誤し、Try & Error を繰り返します。

日々のチャレンジにより、「人とボール」「アイディア」が“常に動き続けるバスケットスタイル”を渋高バスケ部は追求しています。

部員数

2学年:12名 1学年:16名 計28名

年間の費用

チームグッズ・・・80,000円程度

部 費・・・年額3,000円程度

遠 征 費・・・20,000円程度(R6年度)



活動の様子



大会前集合写真



三校合同尾瀬・片品合宿